

メールマガジン埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.231 2018.1.12

県議会広報テレビ「こんにちは県議会です」 1月1日(月曜日)放送分「新春インタビュー1」

2018年になり既に2週間が経ちましたが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。読者の皆さまにとって、2018年もすてきな一年になることを祈っています。本年もメールマガジン埼玉県議会をよろしく願いいたします。



県議会広報テレビ「こんにちは県議会です」では、県議会に関するさまざまな情報をお伝えしています。

今号のメルマガでは、ご覧になれなかった方のために、1日に放送した「新春インタビュー」のうち議長と副議長へのインタビューの内容をお伝えします。

明後日14日(日曜日)には「12月定例会ダイジェスト」が放送されます。プレゼントコーナーもありますので、ぜひご覧ください！

【放送日時】テレビ埼玉 1月14日(日曜日)朝10時～

[☆詳しい放送スケジュールはこちら](#)

INDEX



県議会広報
こんにちは県議会です
「新春インタビュー1」



議事堂の花
生け花のご紹介

県議会広報

【こんにちは県議会です】「新春インタビュー1」

小林哲也議長と土屋恵一副議長に、新春に当たっての抱負などを伺いました。

◆小林哲也 議長

— 番組をご覧の皆さんに、新年のごあいさつをお願いいたします。—

議長 はい。県民の皆さま、明けましておめでとうございます。埼玉県議会議長の小林哲也です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

**《ラグビーワールドカップ2019の開催に向けて》**

— 今日は、埼玉県熊谷スポーツ文化公園内にある陸上競技場をお借りしてのインタビューとなりました。園内にある熊谷ラグビー場は、2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップの試合会場の一つです。いよいよ来年ですね。—

議長 はい。昨年11月には、日本大会の試合日程が発表されました。残念ながら、熊谷ラグビー場での日本戦は生まれませんでした。アルゼンチン、ジョージア、アメリカなどの強豪チームが出場する3試合が行われますので、今から大変楽しみです。

— この陸上競技場では、実業団、大学、高校など大きな陸上競技大会やJリーグ、また、現在ラグビー場が改修中のため、ラグビーのトップリーグの試合も開催されていますね。—

議長 はい。ラグビーワールドカップ2019の開催に向けて、現在、ラグビー場を全面改修しています。今年の8月には、観客席約2万4,000人規模の国際試合にふさわしい臨場感のあふれるスタジアムに生まれ変わります。さらに、ワールドカップ開催時には仮設スタンドも増設します。



熊谷ラグビー場は、私の父が熊谷市長を務めていた平成3年に開設されました。ワールドカップの熊谷開催を招致した時には、私は県議会で招致推進議員連盟を立ち上げ、会長としてその実現に努力をさせていただきました。そして、今回は、父が市長の時に出来たラグビー場の大規模改修に立ち会うことができ、とても感慨深いものがあります。

《去年を振り返って》

— さて、議長にとって、去年はどのような一年でしたか。—

議長 はい。昨年各定例会では、県民の代表である議員が県民の意見をくみ取り、それぞれの会派から活発な論議が行われたと感じています。

しかしながら、政務活動費の不正受給という誠に遺憾な事態がありました。政務活動費は、政策立案や調査研究などの議員活動に必要な経費のために議員に交付されるものですので、各会派から意見を頂きながら適正化を図ってまいりたいと思います。

なお、政務活動費の公開については、通常の情報公開とは異なり、これまでもすぐに閲覧できるように準備しています。

— 議長として臨まれた仕事の中で、特に印象に残っていることはなんですか。—

議長 9月に上田知事とブラジルを訪問させていただいたことが印象に残っています。

埼玉県民がブラジルに移住して100年と、ブラジル埼玉県人会の創立60周年を記念した式典に出席させていただきました。

埼玉県人会の行田市ご出身の方が、式典の最後に「埼玉県は私たちを忘れてはいなかった」とあいさつされていたことがとても深く心に残りました。当時は開拓移民として遠いブラジルまで命懸けで渡り、長い間相当ご苦労があったと聞いております。日系四世、五世と続く埼玉県関係の方々に、ブラジルで埼玉県のPR活動などに支援をいただいていることに感謝する訪問でもありました。

— 去年は埼玉県の活躍が目立ちましたね。—

議長 そうですね。特に、夏の甲子園で花咲徳栄高校が埼玉県勢として初めて優勝したことは、私たち県民に大きな感動を与えてくれました。

実は、準決勝の日、さいたま市内で関東甲信越1都9県の議長会を開催しておりました。

迷いましたが、翌日の会議は土屋副議長にお願いし、決勝戦の応援に駆けつけました。

長年の埼玉県民の悲願であった夏の甲子園全国制覇という歴史的な瞬間に立ち会うことができ、大変感動しました。



— 花咲徳栄高校には、県から「彩の国功労賞」が贈られましたね。—

《他の都道府県議会との関わり》

— 議長は、他の都道府県議会とも関わりがあるのですか。—

議長 はい。議長は、県議会をまとめるとともに、各都道府県の議長をメンバーとする議長会に出席し、地域の発展に向けた施策の検討や国への要望・提言について意見交換などを行います。

全国都道府県議会議長会では、国土交通委員会の副委員長を務めさせていただいています。他の議長さんと意見交換しながら、地方が活性化するよう取り組んでいます。

《今年の抱負》

— では、年頭に当たって、抱負と決意をお聞かせください。—

議長 はい。議長として、県民の誰もが心豊かに安心して暮らすことができる社会の実現のため、各会派の議員の皆さんとコミュニケーションを図りながら円滑な議会運営に努めてまいります。

私が常に心掛けて「和して同ぜず」という座右の銘は、議会運営の中でも必要なことだと思っています。調和はするけれども、損得やその場限りの同調はしない。しっかりと自分の信念を貫き、ぶれない立場で政治家として、議長として、今後も活動してまいります。

県民の皆さまには、これからもより一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

◆土屋恵一 副議長

— まず、番組をご覧の皆さんに、新年を迎えてのごあいさつをお願いいたします。—

副議長 県民の皆さま、あけましておめでとうございます。副議長の土屋恵一です。皆さまにとって、新しい年が幸多き一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。本年も、どうぞよろしく願います。



— こちらでは、ラグビー場や彩の国くまがやドームの景色を望めます。くまがやドームの白い屋根が特徴的です。—

副議長 そうですね。ラグビーボールをイメージした国内最大級のドーム型運動施設です。

天候に左右されずにスポーツが楽しめる、大変人気のある施設です。

**《去年を振り返って》**

— さて、去年は副議長に就任されてお忙しい一年だったと思います。振り返っての感想をお聞かせください。—

副議長 はい。副議長として、多くの会議や行事に出席させていただき、幅広い分野の方とお会いすることができました。私は、「人の心を動かすのは政策ではなく、信頼関係である」ということを大切にしてきましたので、このような機会に大変感謝しております。

— 特に印象深かった公務はありますか。—

副議長 まずは、5月に富山県で開催された全国植樹祭に出席したことです。天皇皇后両陛下がご臨席して、お手植えとお手播きされ、私も記念植樹を行いました。

8月には、県議会の代表として、東京での埼玉県人会「埼玉応援団大集合！！I Love Saitama! from Tokyo 2017」に参加しました。この催しは、東京から埼玉にエールを送ろうと、県人会の会員や県にゆかりのある政財界の方々およそ600人が参加し、大変盛況なものでした。

— 埼玉を応援する方々が大勢集まったのですね。ほかに印象に残っていることはありますか。—

副議長 はい。10月には、男子100メートルで日本人として初めての9秒台となる9秒98の日本新記録を出した桐生祥秀選手への「彩の国功労賞」の贈呈式に出席しました。桐生選手は、東洋大学の川越キャンパスで練習をしているんです。

《東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて》

— 2020年の東京オリンピック・パラリンピックの活躍も楽しみですね。—

副議長 そうですね。他にも、埼玉県ゆかりのスポーツ選手が多くいらっしゃいますので、これからも応援していきたいと思っております。

また、10月28日には、東京オリンピックに向けて埼玉で開催した1000日前イベントに出席し、カウンタウンボードの除幕やあいさつをしました。



— 県民みんなで盛り上げていくことは大切ですね。—

副議長 はい。オリンピック参加国の事前トレーニングキャンプ地の県内への誘致を進めることも必要だと思います。キャンプ地として呼び込むことでスポーツや文化の交流が生まれ、地域の活性化にもつながります。埼玉や地域の素晴らしさを世界にPRできる絶好の機会となります。

《今年の抱負》

— 最後に今年の抱負をお聞かせください。—

副議長 はい。私は県民の皆さまと共に、美しく豊かで安心の埼玉県を実現したいと考えております。本年も、副議長として小林議長をサポートしながら議会運営に全力を尽くしてまいります。

県民の皆さまには、引き続き県議会に対するご支援、ご協力をお願い申し上げます。

[▲トップへ](#)

議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。

【協力 埼玉県いけばな連合会】



展示期間：
12月18日
～12月22日
作者：
桂古流
新藤華盛様
花材：
クジャクヒバ、
ヒペリカム

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈桂古流 新藤華盛様〉

Q: 今回の作品のイメージを教えてください。

A: クリスマスの時期なので、花器の白色、葉の緑色、ヒペリカムの実の赤色などのクリスマスカラーを使い、作品自体もクリスマスツリーを意識しました。また、クリスマスらしいアレンジメントを妻が作ってくれたので、それも添えてみました。

Q: クリスマスツリーを日本の生け花で表現するというのは興味深いですね。

A: 花材を花器の中に入れた竹筒に生け込み、枝が広がらないようにして一本の幹に見せたり、作品全体やヒペリカムの実の部分で美しく見える三角形を作ったり、生け花の技法を使いつつ表現しています。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。≫

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから](#)≫

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257 / FAX 048-830-4923

